

令和2年度 指定管理者業務実績シート

作成年月日 令和3年6月8日

部	教育委員会生涯学習部	課	文化財課
---	------------	---	------

施設名・所在地	函館市縄文文化交流センター 函館市臼尻町551番地1		
設置条例	函館市縄文文化交流センター条例		
指定管理者名	一般財団法人 道南歴史文化振興財団	指定期間	平成31年4月1日から令和4年3月31日まで
指定管理者の特別な要件	1 考古学・保存科学および博物館環境に習熟した学芸員を3名以上確保し、常時1名以上配置。うち、1名以上は文化庁が主催する指定文化財（美術工芸品）企画・展示セミナー修了者または同等の知識等を有すると教育委員会が認める者 2 学芸業務を統括する管理責任者は「考古学・保存科学および博物館環境に習熟した学芸員」から選任すること	選定区分	公募 非公募
設置目的	縄文文化を通じた交流の場の創出および縄文文化の最新の研究成果を通して歴史的意義・重要性を国内外へ情報発信することにより、観光客や研究者等の集客を促し、交流人口の拡大を図り、もって地域振興に寄与することを目的とする。		
設置年月	平成23年10月	建設費	633,867千円
構造規模等	敷地 総面積：7,140.93㎡ 建物 構造：鉄筋コンクリート造 地上2階 延床面積：1,733.43㎡		
開館時間 休館日等	開館時間 4月1日から10月31日まで 午前9時から午後5時まで 11月1日から3月31日まで 午前9時から午後4時30分まで 休館日 ・月曜日（休日の場合は最も近い平日）・12月29日～1月3日・毎月最終金曜日		
料金体系	<input type="checkbox"/> 利用料金制の採用の有無 無 一般 個人：300円 20人以上の団体：1人につき240円 学生・生徒・児童 個人：150円 20人以上の団体：1人につき120円		
1 指定管理者が行う業務の内容および実施状況 (1) 管理業務 ア 入館者に関すること（受付・案内、体験学習・体験講座企画運営、展示・環境管理、道の駅管理） ①ミニチュア土器づくり、縄文ペンダントづくり、縄文編み、組紐アクセサリーづくり等 ②縄文体験講座「縄文土器づくり体験」等 ③お持ち帰り縄文体験講座「縄文ペンダントづくり」等 ④企画展 めざせ！世界文化遺産登録「北海道・北東北の縄文遺跡群」～津軽海峡を挟んだ縄文文化～ イ 資料の利用に関すること（資料の保管・借受け・利用許可、指定文化財の取扱い） ウ 維持管理に関すること（清掃、警備、設備保守点検、塵芥処理、除雪、修繕） エ その他センターの維持管理に関し必要と認められる業務（物品等の調達、光熱水費等の支払い） オ その他教育委員会または指定管理者が必要と認める業務（公金収納、危機管理、広報等） カ 新型コロナウイルス感染症拡大防止ガイドラインに基づく取組 (2) 自主事業 ア 道の駅内売店の運営、ミュージアムグッズ販売 イ 史跡大船遺跡の清掃活動、シーニックdeナイト2021			
2 市民サービス向上のためのその他の取り組み実績 ア 市政はこだて、ホームページ等による広報活動 イ 南かやべ縄文まつり（新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から中止） ウ ホームページ上に「おうちミュージアム」を開設（北海道博物館主催）			

3 市民ニーズの把握の実施状況

ア アンケートボックスの設置（通年）

イ 窓口対応（通年）

4 施設の利用状況

・令和2年度の月別入館者数

(単位：人)

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
利用件数	249	117	701	1,785	3,551	4,813	3,011	2,413	296	248	254	869	18,307

※令和2年4月18日から5月25日まで新型コロナウイルス感染症拡大防止のため休館

・年度別利用件数

(単位：人、円)

年度	← 前期指定期間 →			← 当期指定期間 →		
	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
利用件数	19,688	19,795	18,752	20,402	18,307	
使用料収入	4,415,310	4,516,380	4,225,350	4,702,950	3,499,350	

※平成28年度から指定管理者制度導入

5 指定管理者の収支状況

(単位:円)

区分	← 前期指定期間 →			← 当期指定期間 →		
	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
収入	委託料	46,352,000	46,351,636	46,351,636	46,773,000	46,773,000
	利用料金					
	事業収入	638,252	740,800	754,800	729,200	335,100
	雑入	0	0	0	0	0
	計	46,990,252	47,092,436	47,106,436	47,502,200	47,108,100
支出	人件費	22,127,998	21,157,739	20,307,806	21,494,998	21,889,257
	消耗品費	1,027,710	2,314,190	1,738,085	1,894,361	2,187,668
	印刷製本費	770,430	279,412	510,620	51,267	419,939
	修繕費	145,000	216,000	458,400	417,440	722,550
	水道光熱費	4,627,263	4,841,084	4,786,616	4,882,027	4,757,305
	通信費	382,722	570,763	429,736	422,688	422,353
	業務委託費	8,882,695	9,012,978	8,939,873	9,102,263	9,386,124
	リース料	1,356,468	956,162	1,057,085	1,025,493	1,015,843
	租税公課	3,746,964	3,507,279	3,489,367	3,918,931	4,282,552
	原材料費	392,212	0	0	0	0
	その他の支出	3,489,691	4,492,655	1,049,672	1,119,074	1,201,318
	計	46,949,153	47,348,262	42,767,260	44,328,542	46,284,909
	当該施設の利用者一人当たり税金投入コスト	2,130	2,113	2,246	2,062	2,364

6 モニタリングの実施状況および指定管理者に対する改善指示等の実施状況

実地調査の実施 有 ・ 無

ア 管理業務実績報告書、事業報告書・財務諸表を年次提出

イ 実地調査（随時）

7 指定管理者に対する評価

① 指定管理者の自己評価

区分	評価	評価の内容	課題と今後の対応
業務の履行 状況	<input type="checkbox"/> A	仕様書に基づき、縄文文化交流センターの適切な管理運営に努めた。	入館の受付や許可および入館料の徴収、収納管理を適切に履行した。世界文化遺産登録に向けての理解と機運醸成を図るため、津軽海峡を挟んだ縄文文化形成の背景や生活と精神性に関連する企画展を開催するなど事業内容の充実を図った。 今後の課題として、施設面では雨漏りや夏季期間外気の温湿度上昇による展示室内温湿度の上昇への対応、運営面では感染症対策に万全を期して、快適で安心・安全な施設運営を目指し、市と協議を進めながら改善を図っていききたい。
	<input checked="" type="checkbox"/> B		
	<input type="checkbox"/> C		
	<input type="checkbox"/> D		
サービスの 質の状況	<input type="checkbox"/> A	来館者の要望等を常に従業員が共有し、入館案内・解説・講座等を工夫し、各種業務のサービス向上に努めた。	コロナ禍で縄文センターの利用が制限されるなか、縄文センターの展示紹介動画や、縄文クイズなどのコンテンツをインターネットで配信したり、自宅や学校等でも実施できる体験学習キットの用意など、状況や要望に応じた対応を行った。 今後もコロナ禍が続くことが予想されますが、来館者のニーズに沿ったサービスの提供を市と協議しながら行っていききたい。
	<input checked="" type="checkbox"/> B		
	<input type="checkbox"/> C		
	<input type="checkbox"/> D		
団体の経営 状況	<input checked="" type="checkbox"/> A	特に問題なし。	来館者の声に常に耳を傾けてサービスの向上につなげていきたい。また、縄文文化の価値を広く情報発信できる施設として、特に次世代を担う子供たちに親しみを持ってもらえるよう、オリジナルキャラクターの「どごう館長」を活用するなどして、より良い運営を行っていききたい。
	<input type="checkbox"/> B		
	<input type="checkbox"/> C		

② 市の指定管理者に対する実績評価

区分	評価	評価の内容	課題と今後の対応
業務の履行 状況	<input type="checkbox"/> A	管理業務処理要領に基づき適切な管理運営および事業が行われているが、仕訳作業の誤りや予算執行状況の確認の遅れ等、経理事務に課題がある。	北海道・北東北の縄文遺跡群が世界文化遺産登録となった場合、入館者数の急増が想定されることから、どのような課題があり、どのように対応するのか、協議を進めたい。 また、経理事務の一部について改善が必要であることから、今後は経理事務経験者を確保するなど、正確で効率的な経理事務となるよう努めていただきたい。
	<input checked="" type="checkbox"/> B		
	<input type="checkbox"/> C		
	<input type="checkbox"/> D		
サービスの 質の状況	<input type="checkbox"/> A		世界文化遺産登録後には、来館者の急増が想定されることから、より一層のサービスの質の向上に向け、定期的に展示解説や接遇に関する研修の実施やスタッフ間の情報共有に取り組むよう努めていただきたい。
	<input checked="" type="checkbox"/> B		
	<input type="checkbox"/> C		
	<input type="checkbox"/> D		
団体の経営 状況	<input checked="" type="checkbox"/> A	団体の経営状況に問題はない。	引き続き安定した団体運営に努めていただきたい。
	<input type="checkbox"/> B		
	<input type="checkbox"/> C		

◎ 「業務の履行状況」「サービスの質の状況」

- A 協定書を遵守し、事業計画書及び仕様書の水準以上がなされている。
- B 協定書を遵守し、事業計画書及び仕様書の水準どおり行われている。
- C 協定書を遵守しているが、事業計画書及び仕様書の水準をやや満たしておらず、課題がある。
- D 協定書や事業計画書に不履行がある。または、業務水準を満たしていない。

◎ 「団体の経営状況」

- A 事業収支、経営状況に問題はない。
- B 事業収支、経営状況の今後に注意を要する。
- C 事業収支、経営状況に早急な改善を要する。